



第39号

木曾川町連区



地域づくり協議会だより

【発行日】令和元年7月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp
【ホームページ】<http://138kisogawa.org> 木曾川町連区で検索してね♪



↑
こちらからどうぞ

世代間の連携と活力あるまちづくりを

活気部会長 平林 哲也

活気部会では、昨年度より「ふるさと再発見」事業として木曾川町の歴史・文化・名所旧跡を新旧対比写真で紹介するパネルを作成し、木曾川庁舎や大型店舗の特設コーナーに展示してきました。このパネル写真展示を通して、町民のみなさんがかつての風景を懐かしんだり、木曾川町には素晴らしい自然環境があり、歴史豊かな町であることを再発見したりする機会となりました。本年度は、より多くの人に「ふるさと再発見」をしていただくために、このパネル写真を冊子化して全戸配布する予定です。ぜひご覧いただき、ふるさと談議に花を咲かせてください。また、今年度も3小学校との連携・協働事業として、地域の歴史・文化・自然をテーマにした子どもたちの学習活動を展開する予定です。さらに、昨年度から始めた「雀のお宿野外音楽祭」を継続し、今年度は10月6日(日)午後開催する予定で準備を進めています。自然豊かな木曾川の水辺に整備された木曾川緑地公園(雀のお宿公園)にお越しいただき、吹き渡る秋風に吹かれながら出演バンドの演奏をぜひお楽しみください。

活気部会では従来の活動の充実を図るとともに、新たなニーズを掘り起こしながら世代間の連携と活力あるまちづくりを目指して活動していきたいと考えております。みなさまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

支え合い・助け合いの町づくり

思いやり部会長 宇佐見 正重

超高齢化社会の到来による認知症高齢者の急増や児童・幼児の痛ましい交通事故死の頻発が深刻な社会問題となっています。思いやり部会では、住民同志の見守りを基本とした、支え合い、助け合いによる町づくりをめざして、今年度の重点事業を次の4事業として活動を行ってまいります。

①見守りネットワークの活性化

各町内で行ってきた「声かけ運動」をより実効性のあるものにするためには、町会長・民生委員・福祉員等が「顔の見える」関係づくりを構築することが必要です。そのために昨年度より始めた交流会を継続し、地域の見守り活動の現状と課題の共有を図ります。さらに、見守り活動の目的と必要性を再認識するために「見守りネットワーク推進講演会(7月7日 木曾川公民館講堂)」を開催します。

②声かけお助け隊

認知症に関する知識を深め、徘徊者への実際の声かけを体験することによって、認知症の方への接し方を学ぶ機会とします。(11月23日 木曾川西小学校)

③きそがわつながりマップ

高齢者や障害者等が住み慣れた地域で安心して生活を続けていくために必要な木曾川町の社会資源について、その機能・役割・所在地・連絡先をリスト化し、さらに地図上に落として社会資源マップとして見やすくします。(今年度中に全戸配布予定)

掲載施設：ふれあいサロン・福祉施設・通所施設・スポーツ・文化施設他

④登下校児童の見守り活動支援

木曾川町内3小学校の登下校における児童の安全確保のため、登下校時見守り活動の活性化を目的として、昨年度より始めた支援事業を継続します。

以前より活動されている方々に加えて、昨年は新たに78名のボランティアの参加がありました。しかし、交通量が多く安全が十分確保できていない通学路が多くあり、まだ見守りボランティアが不足しています。

“できる日にできる場所でできる事”をやって頂ければ結構ですので、賛同頂ける方の参加をお待ちしています。



地域の方々のお役に立ちたい

安全安心部会長 中井 義也

今年度安全安全部会では、大きく3つの活動を行ってまいります。

①避難所マップの製作 ②避難所マップの配布・掲示 ③HUGの開催です。

①避難所マップの製作については、昨年度から引き続き行ってまいります。実際に災害が起きたときにお役に立てるようなマップです。各世帯に配布し、ご家庭内でも実際にどこに避難すればいいのか、知っておくということが、安全につながり、安心の材料となります。

②避難所マップの配布・掲示については、木曾川町連区全世帯に配布すると合わせて、主要な公民館等にも配布し、掲示していただきます。地域の方が、いつも見える場所にあり、意識していただけるようにし、有事が起こった際にすぐに行動できるような意識付けの一翼を担えればと思います。

③HUGの開催についてですが、HUGというのは、H 避難所 U 運営 G ゲームの略でございます。昨年度も地域の方々に参加していただき、実際に災害が起きたときの現実を知り、今後の対策を立てる上で、とても重要なことを学びました。この活動を続けていき、地域の皆様と情報を共有しながら、災害時の基本的な行動などを共有できればと思います。安心・安全とは、私たちが日頃意識し、その意識が結集するとすごく大きな力になります。

私たち安全安全部会では、この3つの活動を通じて地域の方々のお役に立てればと思います。

これからもどうぞ、ご協力よろしくお願い致します。



地域づくりに花を添えて

女性部会長 宮崎 初美

地域づくり協議会に「女性部会」が発足して今年で4年目になります。女性ならではの視点や感性を大事にして、地域づくり協議会主催の行事や提案事業に参加させていただき、可憐な花を添えております。

災害が起きた時の避難所運営にも女性目線での準備が必要であるということで、今年度もHUG講習や防災訓練にも積極的に参加していきたいと思っております。また、今年度も女性部会主催で「認知症講座」を開催する予定です。「認知症」のことを事前に勉強して、正しい知識を得ることで心構えができ、ご家族やご近所で認知症の症状が現れた方に対して上手に接することが出来るようになり、トラブルを少なくして、ご本人様も含め、お互いにストレスを少なくして笑顔で過ごせる優しい町づくりに貢献できればと思っております。

地域の皆さまには、まずは「地域づくり協議会」に興味を持っていただき、HPや地域づくり協議会だよりに目を通して、各事業に参加していただきたいと思っております。そして、「地域のために何かしてみたいな」と思われましたら、是非お声掛けください。

女性部会は日頃から地域に根付いたボランティア活動などを行っている有志の集まりで、「我が町木曾川町のために何かお役に立てれば…」という気持ちあふれるメンバーで構成されており、仲間も募集しております。是非一緒に活動しましょう。



みなさまのお役に立つ情報がいっぱい

広報部会長 菱川 陽子

突然ですが・・・

みなさんは、木曾川町に住んでいて良かった～♪と感じる事はありますか？

私は木曾川町に住んで18年になりますが、数年前まではそんなこと気にしたことなんてありませんでした。「交通の便が良い」とか「買物がしやすい」と感じるくらいで。でも、地域づくり協議会を知ってから違います!!

地域づくり協議会は、役員の方々が中心となり、私たちが住んでいるこの木曾川町を、年齢問わず安心安全に暮らせる町、活気があり魅力ある町にしようと活動して下さっています。例えば、子供たちを見守るボランティア活動は、働くママには本当にありがたいですね!! 災害に備えての備蓄倉庫の設置や避難所マップの配布は、もしもの時に本当に助かります!!

しかし、そんな様々な活動をして下さっている地域づくり協議会ですが残念ながらまだまだ知っている方が少ないのが現状です。役員の方々が木曾川町のためにと頑張っておられますのでその活動やその想いも、この「地域づくり協議会だより」を通じて発信していけたらと思っております。

みなさまのお役に立つ情報がいっぱいの情報誌です!!

✧みなさまからの情報提供もお待ちしております✧



参加しませんか!! 「声かけお助け隊」体験

「おはようございます」と、隣り近所のお年寄りや子どもとのあいさつは一日の活力となり気持ちのいいものです。さらに、私たちの住むまちで通りがかりの方や見知らぬ方ともあいさつが交わされるようになってきたらすばらしいと思いませんか。

困っていそうなお年寄り（認知症高齢者）への声かけは、ちょっとしたコツと経験が必要かも知れません。この体験活動（声かけお助け隊）は、今まで一宮市ではどこも実施していなくて、木曽川町が最初に行くことなのでとても注目されています。



今年の「声かけお助け隊」体験は、木曽川西小学校区内にお住まいの方を対象にして11月23日（午前）に行いますので、たくさんの方に参加していただくことを願っています。詳しい実施方法などは一宮広報紙9月号と共に木曽川西小学校下全世帯に配布して参加者を募集いたします。

なお、防災訓練と同じように東小・黒田小へと開催地区をかえていきます。あいさつによる声かけや見守り活動が広がることにより、住み慣れた木曽川町で誰もが安心して暮らせる町づくりのきっかけにしていきたいですね。

「ちょこボラサービス」のご案内

一宮市社会福祉協議会

聞きなれないことばですが・・・

「ちょこっと助け合いボランティアのサービス」のことです。

市内在住で、65歳以上のひとり暮らしの方や、70歳以上の方だけの世帯が利用できる、会員制の有償（30分以内300円・登録無料）ボランティアサービスです。

会員登録する際や利用を希望する際にお困りのことをお聞きし、活動内容や訪問するボランティアをコーディネートしますので、安心してご利用いただけます。

電球交換や買い物、掃除や草取りなど自分でできなくて困っていることがあれば、**社会福祉協議会本部（☎85-7024）**にご相談ください。

また、ボランティアにご協力いただける方も募集しています。

